

授業科目名 (英文名)	基本プログラミング (経営学部・専門科目) (Computer Programming Technique)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	松本 敏民	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義は、プログラミング初心者に、プログラムの作成から実行までの一連の作業体験を通じてプログラミングおよび、プログラミング言語に関する基本的な知識と技術とを習得してもらうことをその主な目的とする。到達目標は、配列を利用した処理に加え、数値列の整列化(ソート)や最大公約数計算等、素朴なアルゴリズムにより実現可能な処理程度であれば自力でプログラムできるような力をつけることである。</p>		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容</p> <p>本講義ではRuby言語を用いて、プログラミングの基礎を解説する。準備として、Ruby言語処理系の導入、作業環境の整備等について解説し、続いて、テキストエディタ(プログラム作成・編集用ソフトウェア)の操作や、WindowsOS上での必要な各種操作について説明、演習を行う。</p> <p>以上の準備の下、プログラミングに関わる各種基本概念および、プログラミングに必要な関連技術について順を追って解説してゆく。同時に、比較的単純な処理内容のいくつかのプログラムの作成を通してこれら概念の理解を深めてもらう。</p> <p>後半には、成績処理等といった比較的身近で単純な手順を題材にしたプログラム作成課題に取り組んでもらう。</p> <p>II 授業計画</p> <p>1. ガイダンス 2. 簡単プログラミング体験と作業準備 3-4. エディタ入門 5-7. コマンドプロンプトの基本コマンド入門 8-22. Ruby言語によるプログラミング * print文 * 繰り返し文 for, while, each, times * 条件分岐 if, if-else, case * 配列, 連想配列 * 関数(メソッド) * ファイル操作</p> <p>23. 中間まとめ・小テスト 24-29. プログラム作成課題 30. まとめ 31. 評価 (到達度の確認)</p>		
テキスト	プリント資料を適宜配付する。		
参考文献	「たのしいRuby」高橋征義他著(ソフトバンククリエイティブ)		
成績評価の基準・方法	課題・小テスト30-40%、定期試験60%程度を基準とし、積極的な質問など平常の授業への取り組み(出席状況も含む)を含めて総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	電子メールソフトウェアや文書作成ソフトウェアをある程度使いこなす程度のコンピュータリテラシーは備えていること。		
実践的教育			
備考	特になし		